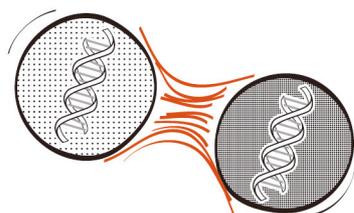


第 30 回

インターゲノミクス セミナー



Intergenomics

神戸大学大学院・農学研究科
インターゲノミクス研究会 主催
(若手研究者育成支援経費)

日時：11月28日（金）15時10分より 場所：農学部 C101

「非モデル植物や見えにくいものを研究する」

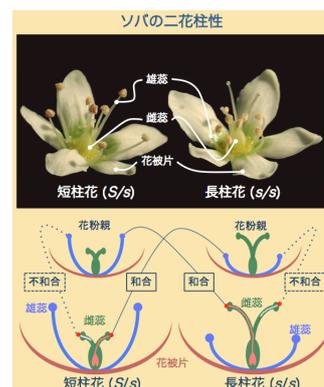
15:10 はじめに

15:15 非モデル植物の遺伝学

～ソバの二花柱性関連遺伝子 (*S-ELF3*) の同定を中心に～

安井 康夫 先生 (京都大学 農学研究科)

要旨内容：C. Darwin の「Different forms of flowers」にあるように、多くの植物において花の形態多型と自家不和合性が密接に関連した二花柱型自家不和合性が見られる。そこでは、自家不和合性および雄蕊・雌蕊の長さを支配する連鎖遺伝子群が *SELF-INCOMPATIBILITY* locus supergene (*S*-supergene) を形成し、他家受精の高効率化に成功している (Barrett SCH, *Nat Rev Genet* 3:274-284, 2002)。ソバ (*Fagopyrum esculentum*) に見られる二花柱性では種内に「雌蕊が短く雄蕊の長い花型 (短柱花)」を持つ個体と「雌蕊が長く雄蕊の短い花型 (長柱花)」をもつ個体が存在し、短柱花個体の遺伝子型は *S/s*、長柱花個体の遺伝子型は *s/s* である。近年我々は NGS 解析を利用したトランスクリプトーム解析を足がかりに、短柱花個体 (*S/s*) のゲノムに特異的に存在する自家不和合性関連遺伝子 *S-LOCUS EARLY FLWERING 3* (*S-ELF3*) を発見した (Yasui et al, *PLoS ONE* 7: e31264, 2012)。今回のインターゲノミクス研究会では非モデル植物を対象とした遺伝学の一例として、ソバの *S-ELF3* の同定に関する話題を提供したい。



世話人 吉田 康子

16:15 ゲノム育種による環境オンデマンドな根系改良

宇賀 優作 先生 (農業生物資源研究所)

要旨内容：根から土壌中の養水分を効率的に吸収することは、作物生産性にとって非常に重要な要素である。しかし、土壌中の養水分は不均一に分布し、また、地域ごとにその特徴も異なる。そこで、干ばつ地域には干ばつに適応した根系を、リン欠土壌にはリン欠を回避する根系を持った品種の開発がそれぞれ必要となる。本講演では、ゲノム育種を通して個々の環境に適応した根系を持つ品種の開発が可能であることを紹介したい。

世話人：山崎 将紀

17:15～ 総合討論

お問い合わせ 李 智博 (農学研究科 資源生命科学専攻 発生工学研究分野)
TEL: 078-803-6581 E-mail: leej@tiger.kobe-u.ac.jp